

FREE

沖縄で

人生を見つめなおす  
ライフスタイルマガジン

2016年  
第4号

夏・青空号

# ひとやすみ



くつろぎたいむインタビュー  
宮沢和史さん



おきなわで・ひとやすみのコト・モノ・バシヨ  
漫湖水鳥湿地センター／機織工房しよん

ひとやすみの・うちなーんちゅ体験ガイド

NPO法人 自然体験学校 沖縄校

Okinawa Life ending Stage syuukatu fan club

宮古島・松本泰輔さん／名護市・儀間敦夫さん

終活カウンセラーいちえの「よりよくいきる」

小浜 一恵さん

沖縄県メモリアル整備協会だより

メモリアルパークレポート／終活レポート



沖縄を第二のふるさとに——。

旅行や仕事など、沖縄にゆかりのある方に加え、「憧れの地」として今、県外からのお申し込みが増えています。

永代供養・納骨堂

# おきなわ霊廟

安置供養からご納骨まで、  
充実したサービスを含んだ価値ある永代供養墓。

お一人様総費用

1年安置供養料

ご納骨料

記銘彫刻料

# 93,200円

 (税込)

※その他費用は一切かかりません。

1年安置供養 ～魂を鎮める個別安置～



優しい光に包みこまれた心安らぐ静謐な空間で、一年間、個別安置供養いたします。

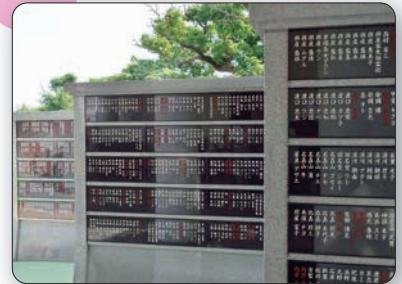
※安置供養は1年から最長33年までプランをご用意しており、安置供養期間により料金が異なります。

ご納骨 ～永代続く手厚い供養～



一定期間個別に安置供養したご遺骨は、納骨袋に移し替え、合同供養墓にご納骨を致します。もしも将来お墓を継ぐ人がなくなった場合や、お参りができない人に代わり、当霊園が責任を持って、永代にわたり供養と管理を行います。

記銘彫刻 ～生きた証をいつまでも～



故人様のお名前を「久遠の礎」に彫刻して、生きた証として永遠に残します。生前でご契約の場合は、繁栄と長寿を授かる象徴として、「朱色」で彩られます。礎には所々に朱色の箇所があることから、年々、生前契約の需要が増してきていることが窺えます。

生前でご契約の方に

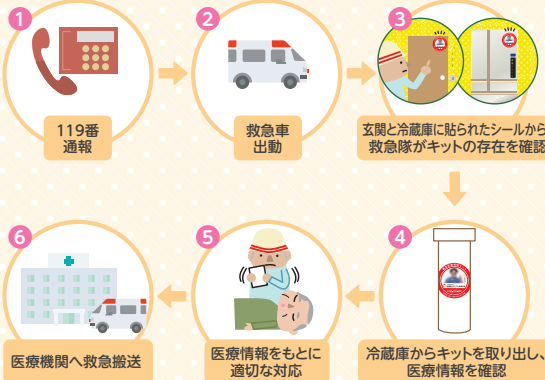
## もれなく救急医療情報キットをプレゼント

このシールが目印

もしもの時に 備えて安心

### 救急医療情報キットとは？

救急・けがなどの緊急時に本人が症状説明ができない場合、あらかじめ冷蔵庫内に備え付けたキットの情報をもとの、適切で迅速な救急医療を行います。



## 安心のメモリアルネットワーク 永代供養のご相談は私たちにお任せください。



公益財団法人  
**沖縄県メモリアル整備協会**  
メモリアル終活支援センター

通話料無料  
**0120-202-869**  
www.oki-memorial.org 沖縄 永代供養 検索





人生を見つめなおすライフスタイルマガジン

# 沖縄でひとやすみ

2016年 夏・青空号 2016/7/27 発刊 通巻4号



**表紙** 八重瀬町にある“機織工房しよん”は、赤瓦屋根の伝統的な民家を工房に、1996年に設立。県立芸大を卒業した、喜久村敦子さん、長池朋子さん、山城恵美子さん、牧山昌子さんの4人の織物作家が沖縄の伝統的な織技法を用いて手織りで制作活動を行っている。



## CONTENTS

### 特集 くつろぎたいむインタビュー 宮沢和史さん

撮影：鬼丸昌範

- 4～6 くつろぎたいむインタビュー  
宮沢和史さん
- 7 おきなわで・ひとやすみのコト・モノ・バショ  
漫湖水鳥・湿地センター／機織工房しよん
- 8・9 ひとやすみの・うちなーんちゅ体験ガイド  
NPO 法人 自然体験学校 沖縄校
- 10 沖縄・いろとりどり  
糸満市西崎海岸の防波堤
- 11・12 Okinawa Life ending Stage syuukatu fan club  
(owner's voice)  
宮古島・松本泰輔さん／名護・儀間敦夫さん
- 13 終活カウンセラー いちえの「よりよく生きる」  
小浜 一恵さん
- 14/15 沖縄県メモリアル整備協会だより  
メモリアルパークレポート／終活レポート

企画／発行：公益財団法人 沖縄県メモリアル整備協会

【メモリアル終活支援センター】

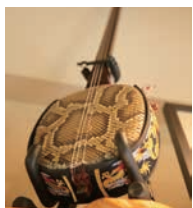
〒901-1111 沖縄県島尻郡南風原町字兼城 123 POPビル3F

電話 098-996-1238 FAX 098-996-1239

制作／印刷：光文堂コミュニケーションズ株式会社

〒901-1111 沖縄県島尻郡南風原町字兼城 577

電話 098-889-1131 FAX 098-835-6111



# この島とは死ぬまでかかわり続けていくことを、肌で感じています。

「通り過ぎてしまうということはない、と思っていた」という宮沢さんの沖縄との出会い。沖縄への想いの中で生まれた楽曲や様々な活動を通して、「あの時出会った水脈が、今はメインの流れになっています」と語る。

沖縄とのかかわりの中で、歌を通して沖縄の心、平和への想いを訴え続けてきた宮沢さんの活動は、楽曲づくりとともに、人づくり、島づくりへと広がっている。

撮影：鬼丸昌範



「始まりは、友人が土産にとくれたマルフレコードのカセットテープだった。「衝撃でしたね。この美しい音楽、詩的な響きをもった言葉はいったい何なんだろう」と。それが宮沢和史さんと沖縄との出会いだった。」

「89年にTHE BOOMがメジャーデビューしたんですが、その頃の僕は、自分の音楽、誰にもまねできない音楽を作りたいと模索していたんです」と宮沢さん。そのタイミングで出会った沖縄の音楽。導かれるままに、宮沢さんは沖縄へと旅立った。「最初の頃は、カメラマンと物書きの仲間とで旅をして、まずは、どんな島なのかを自分の目で見なければ」と。

そこで見たものは、思っていた以上に深く残る戦争の爪痕だった。ガマや戦跡、大きく広がる米軍基地。「自分は、この島の歴史のこと、島を巻き込んだ戦争のことをあまりにも知らない」。

その旅では、もちろん音楽との出会い

もあった。いや、沖縄戦の追体験と沖縄音楽は、一体となって宮沢さんのその後を決定づけることとなる。「昼は戦跡などを巡って、夜は民謡を聴きに回ったんです。上原正吉先生の店や、我如古より子先生の『姫』とか。」

生で聞く沖縄音楽、ぐいぐいと引き込まれていく。「こんなに美しい言葉を綴れるなんて、どんな人たちなんだろう」。この島の秘密を知りたい。その後、宮沢さんはのめり込む様に沖縄に通い詰め、沖縄の音楽さらには沖縄そのものにも深く関わっていく。

「何度か通って、ある時、ひめゆり平和祈念資料館を訪ねたんです」と宮沢さん。ひめゆり平和祈念資料館では当時、ひめゆり部隊の生き残りの方々が、沖縄戦の語り部として、ひめゆり学徒隊のひとりひとりの女学生たちの凄惨な戦場での体験を、自分の声として伝えてくれていた。



期間限定イベント 宮沢和史 写真展 (ポルトガル編) の展示

「この声を、沖縄で起こったことを語るこの声を、自分は伝えなければならぬ」。そして、この人たちに自分の歌を聴いてほしい。その想いにつき動かされるように生まれた歌、「島唄」が、宮沢さんと沖縄との関係を運命に変えた。

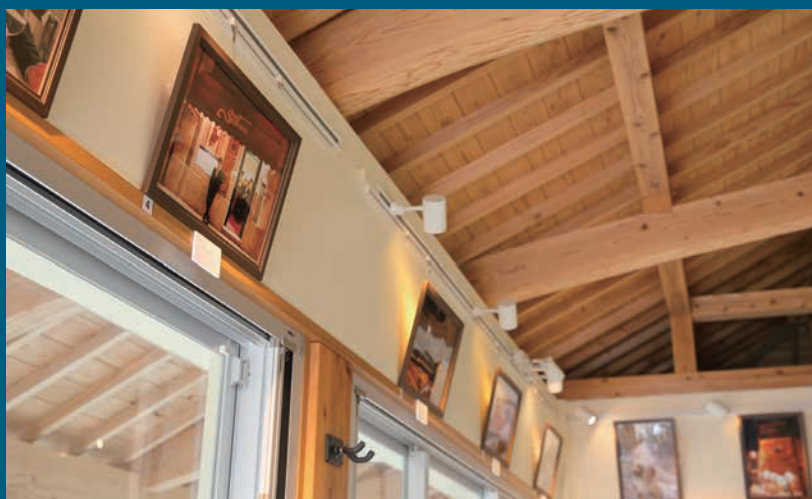
「島唄」は当初、アルバム収録曲だった。その年の12月には、ウチナーグチバージョンが沖縄県内限定でリリースされ1万枚を超える売り上げを記録、さらに翌93年6月には、オリジナルバージョン(標準語)が全国リリース、150万枚を超える大ヒットとなった。

「沖縄の人たちに受け入れてもらえる歌になってほしい」との想いからリリースしたウチナーグチバージョンだったが、実は、「山梨出身の僕が、歌っていいのかのだろうか」という戸惑いも大きかったという。そんな宮沢さんの背中を押したのが、地元の大物ミュージシャンにいわ





「県立芸大で、学生たちに教える機会をいただいて、今年度から教壇に立っているんです」と宮沢さん。  
沖縄の音楽、琉球民謡だけでなく古典やクラシックなど幅広いジャンルで、芸大卒の音楽家が沖縄の芸能に大きく貢献している、という。  
「25年以上、プロの世界にいて、若い人たちにもっと音楽のこと、しまことば、沖縄の音楽の大切さを伝えていきたい」とその想いを語ってくれた。



取材場所は、沖縄市与儀にある みやんち STUDIO&COFFEE



宮沢和史さんとみやんちスタッフのみなさん

宮沢和史さん。山梨県甲府出身  
THE BOOMのボーカリストとして1989年にデビュー、THE BOOMとしてアルバム14枚、多国籍バンドGANGA ZUNBAとしてアルバムを2枚発表している。1992年に発表された「島唄」が世界的なヒットとなった。現在、県立芸大で講師を勤めるなど、後進の育成にも注力。また、琉球民謡250曲を採録しCDに収める取り組みも完了させている。







れた「沖縄の魂を捉えていれば、それはもはや物真似じゃないよ」という一言だった。

今や沖縄を代表する一曲として、沖縄だけでなく世界中で愛されている『島唄』。ウチナーグチバージョンのリリースと沖縄でのヒットの後、確かに「ありがとう」という声が多かったが、一方で「うちなーんちゅでもないのに」と後ろ指さされることもあったという。「でも、25年歌い続けて、最初はバツシングしていた方々も、今は、この歌に込めた平和への願い、この島に二度と戦争があつてはならない、という強い思いを受け入れてくれてるように感じています」と宮沢さんは話す。

島唄のヒットの影響は、意外なところにも現れていた。4年ほど前、宮沢さんが三線職人の方と話をしていた際にいわれたひとことがある。それは、今、三線の棹に使う黒木のほとんどが輸入に頼っているということだった。

「黒木が三線の棹として使えるようになるには、少なくとも100年。いいものであれば300年かかるんです」と宮沢さん。そして「それが沖縄戦で焼かれてしまったこと。それに何しろ高く売れる木なので、戦後を生き抜くために乱獲に近い状態になってしまっていた」。そこに島唄をきっかけとした全国的な三線ブームで、今では県内産の黒木はほとんど残っていないという。

「最初は、自分だけで植えようと思っていたんだけど、三線になるまでに100年以上かかるとなると、とても自分の代だけでは終わらない。一人でできる仕事じゃないな」と思ったという。そこで、思い出したのが友人の演出家である平田大一人氏のことだった。当時、平田氏は、民間登用として沖縄県の部長職に就いていた。「それで県庁をいきなり訪ねて、どうも黒木の植樹・育樹は、自分一人ではどうにもならない。知恵を貸してくれ」と頼んだところ、すぐにリサーチを開始。「そうすると、2008年に、三年間のプロジェクトとして読谷村と野村流古典音楽保存会さんが、座喜味城址に2400本の黒木の植樹をしたという情報を教えてくれたんです」と宮沢さん。そして「どうせなら一緒にやらなにか」と。そこで生まれたのが、「くちの杜100年プロジェクト」だった。

「そこでは月に一回、ボランティアで杜の手入れをしていて、実は、今日も草刈りに出かけたんですよ」と宮沢さん。そして「沢山の子供たちも参加してくれていて、ああ、この木が三線になるには、あと100年かかる。この子たちの子供、孫の世代なんだ」と思ったという。そして、「100年かけて、三線になるということは、100年間、この島に戦争が無かったということなんです」と、話した。



宮沢和史プロデュース

みやんち STUDIO&COFFEE

<http://miyanchi.jp/>

電話：098-923-1382

営業時間：水・木・日・月 11:00～17:00  
金・土 11:00～22:00

定休日：火曜日

住所：沖縄県沖縄市与儀1丁目29番22号

※駐車場 10台

※沖縄第一ホテル オキナワグランメールリゾートから車で二分





ラムサール条約登録湿地

## 漫湖水鳥・湿地センター

運営：漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会



観察デッキ



展示室



展示室のジオラマ



←ヤエヤマシオマネキ

ベニシオマネキ

[www.manko-mizudori.net](http://www.manko-mizudori.net)

Tel: 098-840-5121  
沖縄県豊見城市字豊見城 982

市街地の真ん中にありながら大規模なマングローブ林が広がる漫湖は、水鳥の楽園として有名。渡り鳥の貴重な中継地となっていて、国指定の鳥獣保護区にも指定されている。また河口には干潟が広がり、無数のカニ類やトントミー、たくさんの貝類が生息している。

そんな漫湖の生き物たちが観察できるのが、ここ、漫湖水鳥・湿地センター。年間を通して楽しいイベントが開催されていて、この夏には「漫湖でやる、自由研究。」をテーマに、漫湖自然学校 2016 (7/30～8/28) も開催される。

ちよっと・ぶんかてき

## おきなわで・ひとやすみの ｺﾄ・モノ・ﾊｼﾞ

そんじょそこらの沖縄ファンじゃないよ！ うちら重症の「沖縄病」にかかっているんだから！ というみなさんに、地元視点、いやうちな～んちゅでも知らない情報を提供！

ちよっと・ひとやすみ



### はたおり 機織工房しよん

「日々の暮らしの中で、手にやさしくて気持ちよく使えるようなものを作りたい」と話すのは、「機織工房しよん」のメンバーのおひとり、牧山昌子さん。工房は、静かな集落の一角にある赤瓦屋根の民家。ここでは四人の作家たちが、それぞれ自分のテーマに沿った作品づくりにいそしんでいる。「型にはまった考え方があってもいいけど、それぞれの色使いで、それぞれが作りたいものを作る。その四人が集まったのがしよんです」と牧山さん。しよんの作品は、使い手との対話の中で生まれることも多いという。使い手の声を聴いて、より使いやすいものをつくる。ひとつ一つの作品の表情に、そんなやさしさが溢れているようだ。

※毎週木曜／旧盆と年末年始休  
営業時間：9時～17時

沖縄県島尻郡八重瀬町字仲座 72 mail@shiyon.info



工房見学は随時受け入れているとのこと。Tel:098-996-1770 [www.shiyon.info](http://www.shiyon.info)





## NPO 法人 自然体験学校 沖縄校



八重瀬町 ホロホローの森トレッキング



# 都市近郊に残された 豊かな自然、歴史、文化を体験！！

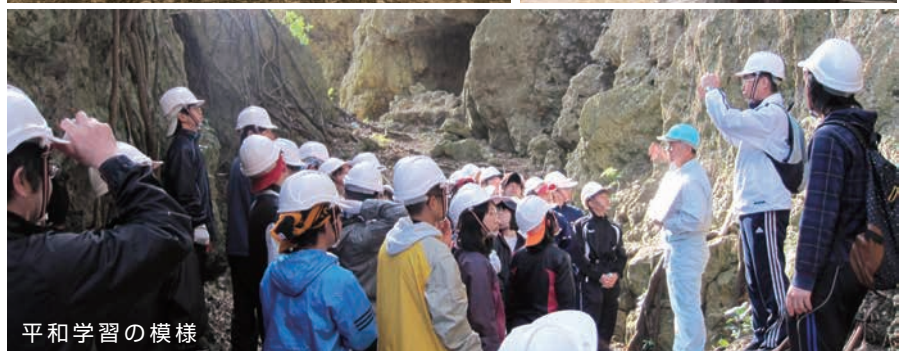
<http://www.shizentaiken.com/okinawa.html>

沖縄本島南部の観光というと、斎場御嶽や戦跡といった超有名スポットはあるものの、どちらかというとも通過型のイメージ。ドライブがてら要所要所を見て回って、本命は北部のリゾートや那覇でのショッピングなんて思っていないませんか。

今回は、そんな南部エリアで楽しめる本格的な体験メニューをご紹介します。

「ある時、私たちの体験メニューに参加してくれた学生さんの話で、シヨックを受けたことがあるんです」と話すのは、NPO 法人 自然体験学校理事長の若林伸一さん。

「その子は、那覇の学校に通っていたんですが、ある時ふと、学校で友達に『ドライブで南部にくることってあるの』と聞いたそうなんです。そしたら即答で『ないよ』って返ってきたという…」と残念そう。ことほどさように、沖縄県民の間でも南部エリアは観光地として認知されていないのが現状らしい。



平和学習の様様



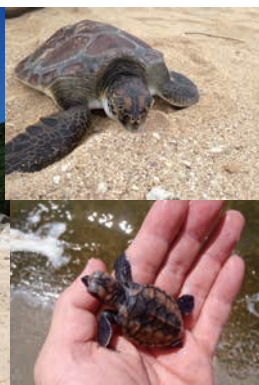


八重瀬の海でシーカヤック体験

NPO 法人 自然体験学校 沖縄校  
 〒 901-0512 沖縄県島尻郡八重瀬町具志頭 1 番地  
 八重瀬町観光・地域交流宿泊施設 ぶらっとやえせ  
 TEL / FAX 098-998-0330



坡名城の郷ビーチ



八重瀬町の個性豊かな石獅子たち



具志頭まちまーいの模様

そんな状況を変えようと頑張っているのが、若林さんをリーダーとする自然体験学校 沖縄校のみなさん。自然体験学校は、八重瀬町を拠点に修学旅行や観光で南部を訪れるグループや個人を対象に、南部エリアならではの様々な体験メニューを開発・提供している。ざっくりとメニューの一部を上げると、

・ 沖縄南部 資源・素材を活かした体験

南部エリアの自然や文化を楽しみながら学べる様々な体験。アウトドアの自然体験だけでなく、雨の日も楽しめるインドアでのクラフト体験も人気。女性向けの「女子旅メニュー」もある。

・ 沖縄南部 平和学習

八重瀬町を中心に、沖縄戦の記憶と記録をたどり、平和について考える。

・ 沖縄南部 民泊体験

地域の方々の協力を得ながら、八重瀬町と沖縄南部のファンづくりのため、全国の修学旅行生などが沖縄南部の家庭に泊まる「民泊体験」を提供。

といったぐあい。

南部エリア、特に八重瀬町などの観光開発があまり進んでいないエリアには、自然や文化、情景、さらにはお店など、ここでしか出会えない素敵な場所や体験が実はたくさんある、と若林さん。地元の皆さんの協力を得て自分たちで作り上げた観光体験メニューには、うちなーんちゅでもびっくりするものがあるんですよ、と嬉しそうに話してくれた。



# 沖縄・いろいろいじり



糸満市西崎海岸の防波堤に描かれた十三祝い記念のグラフィティ。近くの小学校のみなさんが描かれたもののようにです。何年か後に、この場所にもどって、「俺の手、ちっちゃーい」とかいうんでしょか。  
写真手前の島は、岡波岩。100万年前に漂着したくじらの化石が眠る島として有名(?)なようです。そして岡波岩の向こうにうつすらと浮かぶのは渡嘉敷島ですね。







Okinawa Life ending Stage  
syuukatu fan club

宮古島市在住  
11年目の松本泰輔さん

## 大好きな宮古島がもたらしてくれたたくさんの出会い

導かれるように出会った夫婦二人の永代供養墓



「100歳まで生きる予定だから、文字は赤いままでいいな」と笑う松本さん。

お墓を生前購入したことで、充実感や満足感が得られたと松本さんは言う。「死は怖いですがね。けれど、みんないずれは土に還る。色々な物事を少しずつ決めてくことで、納得して死に近づいていけるのかなと思います。それも大好きな宮古島でね。幸せですよ。そう話す松本さんは、とても穏やかな笑みをたたえていた。

松本泰輔さんが奥様と二人で東京から宮古島へ移住したのは11年前のこと。地元の長崎から大学進学のため東京へ、その後は40年以上出版業界の仕事に携わった。忙しいながらも充実した毎日を送っていたが、50歳を過ぎた頃からリタイア後はどこか暖かいところで暮らしたいと考えていたという。「海外移住も考えていましたが、旅行で訪れた宮古島が美しく、青い海に、空、目の前に広がるさとうきび畑。到着したばかりの空港の前で、空気がおいしくて8回も深呼吸しましたよ（笑）」。東京には購入した自宅があったものの、奥様もすっかり宮古島が気に入入り、移住はすんなりと決まった。

島にもたくさんさんの「出会い」があつて。僕はそういう出合いを大切にしてきました」と松本さん。ウォーキング中に偶然出会った人に現在の住まいを紹介してもらったり、銀座で歌っていたというシャンソン歌手と宮古島で知り合いになったり、宮古島メモリアルパークとの出会いもそのひとつだ。ゴルフ帰りに奥様とまたま宮古島メモリアルパークの看板を見かけたのがきっかけで、導かれるように二人で事務所を訪れたという。「その時はまだお墓のことなんて考えていなかったのに、自然と足を運んでいましたね。周りからはまだお墓なんて早いと言われましたけど、説明を聞いたら『これは素敵だなあ』と思って。夫婦二人だけだから小さなお墓で充分だと、すぐに決めました」。こうして松本さんご夫婦は、樹木葬『花想』を生前購入。二人の墓石には、大学時代に西洋哲学を学んでいたという松本さんが、ふと思いついたという『美ら海に抱かれて永遠に眠る 涅槃寂靜』の文字が美しく刻まれている。





Okinawa Life ending Stage  
syuukatu fan club

名護市在住の儀間敦夫さん  
伊江島出身

## おじいちゃんの墓ができて、 いつでもお参りできる喜び。

お墓のおかげで、家族の根っこができたと感じています。

「実家が伊江島にあつて、父が亡くなった後、母が島で仏壇を守っているんですが、さて墓をどうしようと考えたんです」と話すのは名護市在住の儀間敦夫さん。

もちろん、できるのであれば島に造ることが優先されるべき。しかし、三人の兄妹たちは皆、島をでて沖縄本島と本土に暮らし、それぞれ家庭を持っている。島に造るとなると、そう簡単には墓参りもできなくなるといふ懸念があつた。

「今すぐに建てなくても、三回忌までに何とかすればいいという話になって、いろいろ考えているうちに親戚の方から中城メモリアルパークに墓を造つたという話を聞いたんです」と儀間さん。それがきっかけで、本島に墓を造るといふ選択肢も考えるように



「本土に住んでいて納骨式に参加できなかった妹が、後日、帰省し墓参した際に、『ジーンときた。何だか、本島に自分たちの根っこができたように感じる』と話してくれたんです」と儀間さん。そして自分自身も「こうやって、父から自分、そして子供たちへと、家族がつながっていくんだな」と深く感じたのだと話す。

納骨式では、母と本島に暮らす親戚だけでなく、島や、そして遠く本土に暮らす親戚も集まってくれた。

「こうやって、一族が集まる機会を作ることができました。墓をこの場所に造つて本当に良かったと思います。メモリアルパークのスタッフの皆さんにも、ありがとうございました、いいたいです」と、儀間さんは語ってくれた。



親戚一同が参集した納骨式

「本島に住んでいて納骨式に参加できなかった妹が、後日、帰省し墓参した際に、『ジーンときた。何だか、本島に自分たちの根っこができたように感じる』と話してくれたんです」と儀間さん。そして自分自身も「こうやって、父から自分、そして子供たちへと、家族がつながっていくんだな」と深く感じたのだと話す。

納骨式では、母と本島に暮らす親戚だけでなく、島や、そして遠く本土に暮らす親戚も集まってくれた。

「こうやって、一族が集まる機会を作ることができました。墓をこの場所に造つて本当に良かったと思います。メモリアルパークのスタッフの皆さんにも、ありがとうございました、いいたいです」と、儀間さんは語ってくれた。

なつた。そして「そのタイミングでたまたま、具志堅用高さんが出ている、『やるばるメモリアルパーク』のCMを見た」のだつた。

ここなら、自分たち兄妹が暮らす場所からも、母の住む伊江島からも楽に墓参りできる、と思ひ立つた。

「母ともじっくりと話したい、妻や子供たちとも相談したんですが、無理をせず、みんなが楽にお参りできる場所がいい」と、特に意見が分かれることなくスムーズに結論が出た。「それで、墓は三年忌に合わせて作るとして、でも区画は今のうちに押さえておこう」と思ひ、まだ造成中の区画を早々と購入するに至つたのだ。

そして今年4月、待ちに待つた、やるばるメモリアルパークの落成。5月15日のご尊父の三回忌に合わせて墓を建立、納骨を無事、済ませた。







メモリアルパークレポート

やんばるメモリアルパーク開園式  
- 2016/4/27

大安吉日の4月27日(水)、県内で6番目となる、やんばるメモリアルパークがグランドオープン致しました。当霊園は、名護湾を望み、名護市街からも車で15分という好立地。本島北部で唯一の本格的な管理型公園墓地とあって、地域の皆さまから大きな期待を頂いています。この日は、あわせて永代供養・納骨堂「おきなわ霊廟」の落慶法要も執り行われ、大勢の来場者が参加されました。



● お墓のことだけでなく、終活全般のご相談は、私たち、やんばるメモリアルパークのスタッフにお任せください。



石垣メモリアルパーク  
先行予約受付開始 - 2016/4/16

4月16日(土)、石垣市登野城の緑豊かなバナナ岳に建設中の石垣メモリアルパークの先行予約受付がスタートしました。

石垣メモリアルパークは当財団の7か所目となる霊園で、2万4,000㎡の敷地は県内最大規模。新石垣空港や石垣港離島ターミナルからも車で約15分と好アクセスとなっています。園内には、一般墓をはじめ納骨堂や永代供養施設、家族・個人向け永代供養墓のほか位牌供養施設を備えた、充実の霊園を運営して参ります。

中城メモリアルパークで位牌供養堂落慶法要 - 2016/5/22



5月22日(日)、中城メモリアルパークで『位牌供養堂落慶法要』と見学会が行われました。位牌供養堂は、お子様たちが他府県に住んでいてお仏壇の継承が難しいケースや古いお仏壇ですら関係の分からないケースなどに、ご位牌を永代供養することで形あるお位牌を持ち続けることに区切りをつけ、その後は位牌供養堂にお参りすること

によって先祖供養を行うというもの。ご位牌の永代供養では供養法要にて脱魂式を行い、その後お焚き上げ。その灰は手厚く埋葬され、春夏のお彼岸の月に、合同供養法要が行われます。

例) 30年安置永代供養の場合

1 霊位 **108,000 円** (税込み)

※その他の費用は一切かかりません。

位牌供養堂にて30年安置し、お焚き上げ後は供養塔にてご供養します。年2回の合同供養法要で永代にわたりご供養が続きます。



## 今年も、終活フェアが開催されます！

10月15・16日の2日間、タイムス終活フェアが開催されます！

今年の終活フェアの開催日程が、10月15日(土)、16日(日)に決定しました。2014年に那覇市久茂地のタイムス本社ビルでスタートした終活フェア、毎年、たくさんの皆さまにご来場いただいております。「終活」に関する県民の関心の深さを物語っているようです。終活フェアでは、お墓や葬儀・相続・保険などの相談コーナーやパネルディスカッション、講演などが行われ、毎年、来場の皆さまは、明るく終活を楽しまれています。

日程：10月15日(土)～16日(日)  
場所：沖縄コンベンションセンター会議棟  
沖縄県宜野湾市真志喜 4-3-1



写真は  
昨年のフェアの様子→



## 終活カウンセラー協会沖縄支部 第1回 ミーティング開催 -2016/3/4

終活カウンセラーは、終活に関する皆さまの悩みをじっくりお聞きし、内容に応じて適切な専門家につなぐ役割を担っています。

終活には、葬送だけでなく相続や保険など様々な専門分野が関わってきます。また、「人生の振り返り」を通して自分の人生に向き合い、よりよく生きるための良き相談者としての重要な役割を持っています。

2015年4月には(一社)終活カウンセラー協会沖縄支部が発足し、当財団が事務局を担っています。沖縄支部では、現在まで、130名のカウンセラーが誕生、資格取得された方々には、様々な専門知識を持ち、それぞ

れの方で活躍されている方も多くいらっしゃいます。こうしたことから、カウンセラー同士の交流を深め、ご相談者に対するより良いカウンセリングができるよう、第1回ミーティングを開催しました。



第1回ミーティングの様相



# 50年の安心

永代供養家族墓



県内3カ所のメモリアルパークでご案内  
大里メモリアルパーク 具志川メモリアルパーク 名護やんばるメモリアルパーク

## 永代供養家族墓 結の特長

### 5つの安心ポイント

- ポイント1 個別にお参りができます
- ポイント2 50年間ご使用いただけます
- ポイント3 何柱でもご納骨いただけます
- ポイント4 契約時に使用期間の変更も可能です(注1)
- ポイント5 ご使用期間後は責任を持って永代供養いたします

(注1) 契約期間が短くなった場合でも価格の変更はございません。

### ご利用料金

納骨室のサイズによって2つのタイプがあります。  
いずれも初回ご納骨から50年間ご利用いただけます。

永代供養墓「結」 500,000円 1~3柱分のサイズです  
永代供養墓「結」Grand 700,000円 3~5柱分のサイズです

※表記の料金は非課税です。※墓地使用料/永代供養料/石碑・彫刻代/おきなわ霊廟使用料を含みます。

# 永代供養樹木葬

# 花想 はなうみ

赤いサキシマツツジが咲き誇り「花想」を彩ります。



県内2カ所のメモリアルパークでご案内  
石垣メモリアルパーク 宮古島メモリアルパーク

## 永代供養樹木葬「花想」の特長

### 5つの安心ポイント

- ポイント1 沖縄の土地に適した樹木で美しさを保ちます
- ポイント2 契約時一括払いだから安心です
- ポイント3 生前にご契約できます
- ポイント4 個別にお参りができます
- ポイント5 ご使用期間後は責任を持って永代供養いたします

### ご利用料金

「花想」+「おきなわ霊廟」の2施設の利用料金です。

お二人様用 480,000円

※表記の料金は非課税です。※墓地使用料/永代供養料/石碑・彫刻代/おきなわ霊廟使用料を含みます。※お一人様用もご用意。ご利用料金に関してはお問い合わせください。

## 沖縄本島から離島エリアまで 安心のメモリアルネットワーク



県内最大の管理型公園墓地  
**中城メモリアルパーク**  
沖縄県中頭郡中城村字当間340番地



南城市 花とみどりの公園墓地  
**大里メモリアルパーク**  
沖縄県南城市大里字大城1260番地



美ら海のみで やすらぎの丘  
**宮古島メモリアルパーク**  
沖縄県宮古島市平良字松原1290-2



名護 さくらんどの里で永遠のやすらぎ  
**やんばるメモリアルパーク**  
沖縄県名護市屋部728

うるま市 家族みんなが快適な管理型公園墓地  
**具志川メモリアルパーク**  
沖縄県うるま市具志川1801-1番地

八重山 太陽と緑に抱かれて  
**石垣メモリアルパーク**  
沖縄県石垣市字登野城2241-135番地

メモリアル  
終活支援センター

## 公益財団法人 沖縄県メモリアル整備協会 メモリアル終活支援センター

メモリアル終活支援センター 受付時間/9:00~17:00

0120-202-869



沖縄 永代供養 検索

www.oki-memorial.org

